



口加だより

平成27年6月30日発行
長崎県立口加高等学校
第3号 その2

平成27年度(第67回)長崎県高総体特集

■競技別大会結果

●陸上男子(男子総合第4位)(トラック6位、フィールド5位)

- 100m 福田秀(準決勝)、松尾泰次(2次予選落)、久間尚将(予選落)
- 200m 福田秀(2次予選落)、矢野隼(予選落)、江島智一(予選落)
- 400m 高木駿一(優勝※)、江島智一(準決勝)、山下高彬(予選落)
- 800m 高木駿一(優勝※、大会新・15年ぶりの大会記録更新)、小倉孝太(準決勝)
- 1500m 小倉孝太(予選落)、中尾賢真(予選落)、笹田康介(予選落)
- 5000m 中尾賢真(予選落)、田中拓杜(予選落)
- 4×100mリレー(矢野隼、福田秀、松尾泰次、江島智一)(第6位※)
- 4×400mリレー(松尾泰次、福田秀、江島智一、高木駿一)(第6位※)
- 走高跳 永吉徹(11位)
- 走幅跳 南原圭吾(第2位※)
- 砲丸投 野中和馬(7位)、山下颯大(9位)
- 円盤投 野中和馬(11位)、池田拓郎(8位)
- ハンマー投 野中和馬(第2位※)、山下颯大(第3位※)
- やり投 鬼山純一(11位)



●陸上女子(フィールド3位)

- 100m 森小牧(7位)、鶴田実来(予選落)、志方圭華(予選落)
- 200m 森小牧(第6位※)、志方圭華(予選落)
- 800m 松田珠怜(7位)、岩本日花里(準決勝)、小田原玲奈(予選落)
- 1500m 小田原玲奈(予選落)
- 100mH 森内里美(8位)
- 4×100mリレー(鶴田実来、森小牧、高田美沙紀、森内里美)(準決勝)
- 4×400mリレー(岩本日花里、松田珠怜、志方圭華、鶴田実来)(予選落)
- 走幅跳 鶴田実来(21位)、高田美沙紀(13位)
- 砲丸投 渡部真実(優勝※)、本多涼菜(第5位※)、松尾美咲(10位)
- 円盤投 渡部真実(第5位※)、松尾美咲(記録なし)
- やり投 本多涼菜(14位)、酒井翔子(18位)、田栗杏華(8位)



※印は、北九州大会へ進出

●ソフトボール

- (1回戦) 北松農業高に 18-6 6回コールド勝ち
- (2回戦) 九州文化高に 0-15 3回コールド負け **ベスト8**

●バスケットボール男子

- (1回戦) 不戦勝
- (2回戦) 長崎鶴洋高に 90-57 勝ち
- (3回戦) 長崎明誠高に 86-74 勝ち
- (4回戦) 長崎西高に 62-121 負け **ベスト8**



●バスケットボール女子

- (1回戦) 長崎鶴洋高に 70-58 勝ち
- (2回戦) 佐世保商高に 30-113 負け

●ソフトテニス男子

- (1回戦) 五島高に 0-3 負け
- ダブルス 永石大空・森 啄真 2回戦負け
- 中村太貴・高橋優歩 1回戦負け
- 茂 巧真・伊藤隆星 2回戦負け
- 石橋宝征・小田原弘季 3回戦負け

●ソフトテニス女子

- (1回戦) 清峰高に 2-1 勝ち
- (2回戦) 長日大高に 0-3 負け
- ダブルス 小山明美・松藤彩花 3回戦負け
- 伊崎 凌・宅島菜月 2回戦負け
- 居原早希・本多智華 2回戦負け
- 渡部 茜・太田優花 2回戦負け

●バレーボール女子

- (1回戦) 長北陽台高に 0-2 負け

●卓球男子

- (1回戦) 長崎西高に 3-2 勝ち
- (2回戦) 西海学高に 3-0 勝ち
- (3回戦) 佐世保西高に 2-3 負け
- ダブルス 藤田嵐史・荒木紘大 3回戦負け
- 米田直人・鳥居侑矢 2回戦負け
- シングルス 荒木 紘大 4回戦負け
- 一ノ瀬光司 2回戦負け
- 米田 直人 2回戦負け
- 藤田 嵐史 3回戦負け
- 鳥居 侑也 2回戦負け
- 大村 真悟 3回戦負け
- 片山 龍輔 2回戦負け

●卓球女子

- (1回戦) 佐世保商高に 0-3 負け
- ダブルス 野田香実・一ノ瀬 歩 4回戦負け(ベスト16)
- 森山愛結里・氏原優希 3回戦負け
- シングルス 野田 香実 5回戦負け(ベスト16)
- 氏原 優希 2回戦負け
- 本多 晴香 2回戦負け
- 森山愛結里 1回戦負け
- 一ノ瀬 歩 3回戦負け

●サッカー

- (1回戦) 長崎東高に 0-7 負け



■優勝選手のコメント

<p>●高木駿一（男子400m、800mで優勝）</p> <p>高総体で大会新で優勝できたことが一番の自信になりました。去年は全然勝てる気がしない中、モチベーションも十分ではない状態で試合に臨んでいました。自分はいつも上位大会、全国大会で物怖じしてしまう弱いところがありました。そこが一番試合に出ていたのかなと思います。しかし今年は、去年の経験・悔しさがありません。北九大会では高校最後の集大成として、800m、マイルでインターハイへの出場を決めて、昨年の雪辱をはらしたいと思います。絶対、勝ちます。</p>
<p>●渡部真実（女子砲丸投で優勝）</p> <p>私は今回の高総体で砲丸投と円盤投に出場しました。砲丸投で自己ベストでの優勝は嬉しかったです、二冠を狙っていたので少し悔いの残る結果となりました。高総体はやはり会場の雰囲気は全く違い、チームメイトの応援がとても力になりました。競技でも応援でも口加の存在をしっかりとアピールできた大会になったと思います。北九大会でもしっかりと結果を出し、インターハイを決めます！</p>

■各部主将（キャプテン）等のコメント

<p>●旗手・増田淳子</p> <p>私は高校最後の高総体で口加の代表旗手として開会式に臨みました。今年行進はバレー部とテニス部のみで少ない人数でした。最初の練習で2点という低い点数を先生に付けられ、本番までに満足にできあがるのか不安でしたが、各部毎の練習の成果もあり、本番では口加らしい行進をすることができました。貴重な体験をありがとうございました。</p>
<p>●陸上部男子主将・福田秀</p> <p>キャプテンとして出場した高総体はこれまでの高総体にはない強い思いをもって臨みました。結果としては、リレーで上位大会進出を決めることができました。これも応援してくださった方々のおかげです。本当にありがとうございました。</p>
<p>●陸上部女子主将・森小牧</p> <p>私は去年女子キャプテンに任命されてから、初めは不安しかありませんでした。しかし、支えてくれる先輩や仲間、先生がいてくれたのでここまでがんばることができました。次のステージに進むことができたので自分の納得のいく走りをして、後悔のないようにしっかり頑張ります。</p>
<p>●ソフトボール主将・栗田美和</p> <p>約1年間、私はキャプテンをしてきました。誰よりもこの1年間、ソフト部のことを考えてきたと思います。辛い時期もあり、たくさんの涙を流してきましたが、今ではソフトボール部のキャプテンになったことを嬉しく思います。高総体ではベスト8という結果を残すことができました。これからは3年生8人が引退し、1・2年生10人での部活動となりますが、明るく、勝ちにこだわるソフトボール部となるよう期待しています。</p>
<p>●バスケットボール部男子主将・松尾祐哉</p> <p>高総体を終えて1番に感じたことは、1年間男子バスケ部のキャプテンをして良かったということです。最後の大会でベスト8になることができたのは、今まで指導してくださった上野陽一先生、支えてくれたチームメイト、保護者の方々のおかげだと思います。本当にありがとうございました。</p>
<p>●バスケットボール部女子主将・小田茜</p> <p>高総体を終えて、たくさんの方に支えもらっていたことを改めて実感しました。応援や声援に勇気づけられて、最後まで戦い抜くことができました。主将として1年間チームを引っ張っていくことはとても大</p>

変でした。みんなでメニューを考え、私が指示したことをすぐに行動に移してくれ、支えてくれた仲間がいたからやってこれたのだと思います。素晴らしい仲間と部活動で過ごした毎日は、充実した日々でした。今まで支えてくれた方々に感謝します。ありがとうございました。

●**ソフトテニス部男子主将・中村太貴**

自分はいかのリーダーになった経験がほとんどなく、チームをまとめてリーダーとして引っ張っていかれるかとても不安だった。ソフトテニス部をまとめていける気がしなかったが、指示するとすぐに素直に従ってくれた。時には練習に真剣さが足りない時もあったが、注意するとすぐに真剣になってくれた。みんな素直で優しく元気が良かったのでキャプテンとして悩むことも少なくすんだように思う。頼りないキャプテンでごめん。ついて来てくれてありがとう。

●**ソフトテニス部女子主将・小山明美**

去年の今頃、私は先輩方が引退して部員1人でした。そのときは今回で高総体は最後なのかなと思っていました。しかし、2年生の夏に部員が増えて同級生ばかりでしたが1つのチームができました。そして今こうして高3の高総体を終えることができました。他のチームより経験も浅く初心者の多いチームでしたが、勝ちたいという気持ちはどのチームよりもありました。たくさんぶつかり合ったこともあったけれど、この仲間と一緒に戦えたことを誇りに思います。最後の高総体で団体戦、みんなで1勝することができ本当に嬉しかったです。

●**バレーボール部女子主将・大崎陽子**

1年間バレー部のキャプテンをして大変なこともあったけれど、無事に終わらせることができました。今まで続けてこれたのも、仲間、家族、顧問の先生などたくさんの人からの支えがあったからだと思います。高総体で結果を出すことができませんでしたが、19人全員バレーで戦えたので良かったです。バレー部のキャプテンをすることができて幸せでした。ありがとうございました。

●**卓球部男子主将・荒木紘大**

卓球男子は1回戦長崎西に、2回戦西海学園に勝利し、3回戦佐世保西に惜敗しました。ダブルス、シングルスを含め、部としては納得いく結果は出せませんでしたが、ここまでこれたのも顧問の片山先生、松永先生、釣船先生や保護者の方々の支えがあったからであり、そして何より皆さんの応援が力となりました。応援、ありがとうございました。

●**卓球部女子主将・野田香実**

私は1年間キャプテンをしてたくさんのことを改めて学ぶことができました。みんなをまとめる大変さ、仲間の大切さ、たくさんの人に支えられていることなどです。団体戦でも試合をするのは1人か2人です。でもベンチを見るとみんながいて戦っているのは1人じゃないと思います。とても心強い存在でした。仲間、家族、顧問の先生の支えがあり、ここまでやってくることができました。今まで、ありがとうございました。

●**サッカー一部主将・大櫛貴生**

僕は、小学生の時からサッカー部に入っていました。小学校、中学校でもキャプテンをしていました。今までは知っている人のみの部活動だったが、高校に入ってから全知知らない人とも部活動をする事になり気の弱い僕は不安ばかりでした。これまでもキャプテンを経験しましたが、高校のキャプテンになってはじめてキャプテンの重みに気付きました。「キャプテンは人の上に立つ存在だ。お前がしっかりしないと誰もついて来ないぞ」と先生に言われ、このままではダメだと思い、気持ちを切り変えました。これからキャプテンになる人や、人の上に立つ立場の人は軽い気持ちでやるのではなく、人の人生を預かった気持ちでしっかりと取り組んでください。

●●● **各部のキャプテンさん、この1年間、本当にお疲れ様でした。そして、ありがとう** ●●●